

丹波市総合計画 令和4年度 施策評価シート

まちづくりの目標	5	ふるさとに愛着と誇りをもった人づくりのまち
施策目標	5	【文化芸術】地域の文化芸術を守り、育て、活かそう
施策の展開	① ② ③ ④ ⑤	文化ホール事業の充実 市展開催事業の拡充 文化団体の支援 歴史文化遺産の保存活用と継承 文化芸術の推進

施策担当課	文化・スポーツ課
関係課	文化・スポーツ課 社会教育・文化財課

1 施策の現状・推移

5年後のまちの姿	<ul style="list-style-type: none"> 文化芸術の鑑賞・体験ができる機会の充実が図られ、「行ってみて良かった」「良い時間が過ごせた」「心が安らいだ」と感じる時間を過ごせています。 文化芸術活動が活発に行える環境整備が進んでおり、文化芸術に携わる人が増え、若手の芸術家が少しずつ育成されています。 子どもたちの記憶に残る文化芸術の鑑賞・体験機会が増えたことにより、豊かな感性や情操を育むとともに、生まれ育った郷土への愛着が醸成されています。 文化芸術に関わる人たちが一つの輪ができ、魅力ある楽しいまちになっています。また、少しずつ交流人口が増え、祭り等の伝統文化や歴史的な街なみが活用されています。 市民が優れた芸術作品や歴史文化遺産に触れ、また、自らも芸術・文化の表現や創造に努め、地域の歴史文化遺産の保存と活用に関わっています。
----------	---

2 成果指標・コストの推移

		単位	区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考
成果指標	1年以内に市内の文化ホール等が行う舞台芸術・音楽コンサートや美術館等が行う美術展等へ行ったことがある市民の割合	%	目標	50.0	47.0	47.0	47.0	47.0	47.0	
			実績	37.9	26.1	31.1	29.5			
	1年以内に地域の伝統芸能や伝統行事へ参加した、または鑑賞したことがある市民の割合	%	目標	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0	
			実績	51.1	34.9	31.2	33.5			
				目標						
				実績						
コスト	人件費	千円	実績	102,978	125,325	127,237	121,800	—	—	
	事業費	千円	実績	159,834	398,037	135,869	124,280	—	—	
	計	千円	実績	262,812	514,362	263,106	246,080	—	—	
	うち一般財源	千円	実績	186,700	297,670	237,812	213,585	—	—	

3 環境変化

国・県の方針、関連法令の動向	<ul style="list-style-type: none"> 平成13年に「文化芸術振興基本法」制定。平成29年に「文化芸術基本法」に法律改正され、市町村の文化芸術の推進に関する計画についても、観光・まちづくり・国際交流・福祉・教育・産業等、文化芸術など“他分野との連携”が求められるようになった。 文化財を維持管理する人が高齢化しており、郷土の文化財に対する若者の意識を高めるためにも、文化財活用を推進する必要がある。
市民ニーズの動向	<ul style="list-style-type: none"> 植野記念美術館の展示内容として、知名度の高い作家や作品を取り上げた企画希望が一定数ある。 地域に根ざした美術館として、丹波市ゆかりの芸術家や作品を紹介する企画を大切にする姿勢を求められている。 令和2～4年度は、新型コロナウイルス感染対策のため、公演実施にあたり座席制限や公演延期などのため、鑑賞者数が減少しているが、今後は質の高い舞台芸術が鑑賞できる機会を増やすとともに、情報提供の充実を要望する意見が多い。 歴史・文化に触れる機会の増加を望む声がある。

4 評価

目標の達成状況は順調か。達成していない原因は何か。	<ul style="list-style-type: none"> 美術館の来館者満足度は概ね高い評価となっているが、目標数には達していない。美術館に来館した事のない人も惹きつけるような多様な企画立案を検討すると共に、啓蒙的な役割として来館者数は少なくとも、地域ゆかりの芸術家の作品や、当館の根幹を成す優れた館蔵品を紹介し、ふるさとを誇れる企画をする必要がある。 令和4年度は、新型コロナウイルスの影響も回復傾向となり、地域の伝統行事・美術館・歴史民俗資料館・氷上回廊水分けフィールドミュージアム・文化ホール事業・市総合文化祭など、歴史・文化・芸術に触れる機会も徐々に増加した。地域に対する誇りや愛着などのふるさと意識の醸成を図るためにも、これらの取組を継続・拡充しコロナ禍以前の推移まで戻していく必要がある。 アフターコロナでの舞台芸術鑑賞の意識が高まってきたためか市内文化ホールに来館したことがある市民の数は、令和4年度において前年度に比べ7,410人増になっている。しかしながら、文化ホールに来館した人の割合は横ばい状態であることから、来館者の固定化が考えられる。
環境変化を踏まえた施策展開となっているか。	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍をきっかけとして非来館型の新たな鑑賞手法が求められていることから、館蔵品のデジタル・アーカイブ化に取り組む。魅力ある館蔵品を広く発信することでリアルな来館に繋がることも期待できる。 展覧会等の傾向や予想される観客層等を分析し、SNSも活用した効果的な広報活動を行うようにする。 令和2年2月に策定した「丹波市文化芸術推進基本計画」の進捗状況を共有し成果の見える化に努めるとともに、関係団体等と連携・協働を図り、市の文化芸術を推進する。 第4回丹波アートコンペティションは、市民の出品意欲を高めるため「市民賞」を創設した。出品数・来場者数が前回よりは微減となっているが、個性的な作品を観覧する機会の創出につながっている。今後もアートコンペティションを継続開催し、市民の文化芸術活動推進の核となるよう魅力を高めていく。
事業の構成や役割分担で見直しの余地がないか。	<ul style="list-style-type: none"> 歴史民俗資料館を整理統合し効率的な運営を図るため、令和4年度末をもって老朽化が著しい青垣歴史民俗資料館を廃止した。

5 今後の改革方向

施策の今後の方向性、構成する事務事業の見直し案	<ul style="list-style-type: none"> 優れた文化・芸術に触れる機会の拡充や人材の育成・支援を行うことにより、市民の自主的・創造的な文化芸術活動を更に推進する。 引き続き他の社会教育施設や他機関との連携を促進し、同時に連携の内容を工夫する。 市直営で行っている文化ホールの運営は、高い専門性が必要であり、市直営で継続的に文化ホールを運営することが困難な状況になっている。このことから、“丹波市ならではの”文化ホールの運営を継続して行うことができる新たなホール運営団体の組織づくりについて関係者と協議・検討を行う。 美術館・歴史民俗資料館・氷上回廊水分けフィールドミュージアムを支えるボランティア組織等の協力を得ながら、ICT機器等を活用し各館が協働した事業を展開することによりふるさと意識の醸成を図る。 有形・無形文化財をはじめ多くの貴重な歴史文化遺産に対して、市民の理解、関心や保護意識の高揚を図る事業展開を行う。
-------------------------	--

丹波市総合計画 令和 4 年度事務事業評価 / 令和 5 年度実施計画

事務事業名	ホール運営事業		
事業担当課	まちづくり部 文化・スポーツ課	事業期間	平成 27 ~ 無期 年度
	所属長 谷水 仁	担当 須原 貞彦	担当

位置づけ	総合計画	まちづくり目標	【5】ふるさとに愛着と誇りをもった人づくりのまち
		施策目標	5【文化芸術】地域の文化芸術を守り、育て、活かそう
	創生総合戦略	基本目標	
		施策	
	まちづくりビジョン	取組項目	
	根拠法令・個別計画等	文化芸術振興基本法、劇場・音楽堂等の活性化に関する法律、丹波市立文化ホール条例、丹波市文化芸術推進基本計画	

計画 (PLAN)	対象(誰を、何を)	一般市民及び舞台芸術等文化活動を行っている市民		
	目的 ベストな状態 (期待される効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・ホール事業に積極的に参画してもらう機会(鑑賞、事業への参加、オペレーター登録)をつくることで、舞台芸術に関心のある市民層を増やし、舞台芸術に対する市民意識を高める。 ・ホール事業を通じて舞台芸術文化団体等の支援を行い、活動を活性化させる。 ・小中学生に舞台芸術鑑賞の機会を増加することで、豊かな感性や鑑賞マナーを養う。 		
	概要 (具体的手段・全体計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞型公演(著名アーティストコンサート等)、県民芸術劇場、ピックアップアーティスト公演(市内出身のアーティスト起用)、自主映画会(年度内3回)、スタインウェイピアノ試奏会(不定期)の開催 ・実施方法: 直接実施 ・アマチュアアーティスト育成支援事業(バンド、ピアノ、ダンス、和太鼓の各フェスタ)実施 ・実施方法: 業務委託 ・委託先: アマチュアアーティスト育成支援事業実行委員会 		
	令和4年度の 事業概略	<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞型公演、県民芸術劇場、ピックアップアーティスト公演、自主映画会、スタインウェイピアノ試奏会(不定期)の開催 ・アマチュアアーティスト育成支援事業(バンド、ピアノ、ダンス、和太鼓の各フェスタ)実施 	令和5年度の 事業概略	<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞型公演、県民芸術劇場、ピックアップアーティスト公演、自主映画会、スタインウェイピアノ試奏会(不定期)の開催 ・アマチュアアーティスト育成支援事業(バンド、ピアノ、ダンス、和太鼓の各フェスタ)実施

コスト(単位:千円)		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考
(評価年度は実績、計画年度は予算)								
歳出	総事業費 A+B	21,722	28,255	35,242	23,884	30,502	30,502	
	直接事業費A	12,444	8,826	15,653	10,455	17,073	17,073	
	総人件費計(E+H) B	9,278	19,429	19,589	13,429	13,429	13,429	
	職員従事者数(人・年) C	0.87	1.88	1.75	1.30	1.30	1.30	
	【平均人件費】D	7,400	7,460	7,620	7,430	7,430	7,430	
	人件費 E=C×D	6,438	14,025	13,335	9,659	9,659	9,659	
	会計年度任用職員従事者数(人・年) F	1.42	2.29	2.65	1.49	1.49	1.49	
	【平均人件費】G	2,000	2,360	2,360	2,530	2,530	2,530	
人件費 H=F×G	2,840	5,404	6,254	3,770	3,770	3,770		
歳入	特定財源	2,908	3,907	4,078	6,009	3,313	3,313	
	国・県支出金	0	0	0	0	0	0	
	借入金(地方債)	0	0	0	0	0	0	
	受益者負担金	2,635	2,253	3,865	5,637	3,125	3,125	
	その他特財	273	1,654	213	372	188	188	
一般財源	18,814	24,348	31,164	17,875	27,189	27,189		

実施 (DO)	指標名	単位	目標	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考
			実績							
成果	1年以内に市内の文化ホールなどが行う舞台芸術・音楽コンサートへ行ったことのある市民の割合	%	目標	50.0	47.0	47.0	47.0	47.0	47.0	
			実績	37.9	26.1	31.1	29.5			
成果	自主事業鑑賞者数	人	目標	7,000	3,000	6,000	6,000	6,000	6,000	
			実績	4,920	2,294	2,296	3,425			
成果	ボランティアオペレーター数	人	目標	90	90	90	90	90	90	
			実績	51	43	43	42			
成果	高校生以下の鑑賞者満足度	%	目標	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	90.0	
			実績	76.8	92.0	92.0	95.2			
コスト			目標							
			実績							

指標の推移等の背景・分析

- ・令和2年度・3年度は、新型コロナウイルス感染防止対策のため、公演実施にあたり座席制限や公演延期などの対応が求められたため、鑑賞者数が減少しているが、令和4年度は制限が緩和されたこともあり、大きく増加している。
- ・令和4年度にホールに来館したことのある市民の割合は前年度と比べほぼ同じである。今後コロナ禍が回復するにつれて、増加すると思われる。
- ・舞台を支えるオペレーター数はほぼ変わらない。引き続き養成講座を継続する。

事務事業名	ホール運営事業			
事業担当課	まちづくり部 文化・スポーツ課	事業期間	平成 27 ~ 無期	年度

事務事業全体の実施（DO）に対する、事務事業の展開の評価・課題について						
評価 (CHECK)	評価視点	評価	理由・コメント	評価視点	評価	理由・コメント
		(必要性) 市民にとって必要な事業か。	A	劇場、音楽堂等の活性化に関する法律において、地方自治体が芸術文化施策を策定し、劇場音楽堂等を積極的に活用しつつ事業を実施することが定められており、市民の文化芸術意識の向上を図るためホールを活用することが求められている。	(コスト) 改善・改革等により更に低コストで実施できないか。(サービス・成果は維持)	B
(効果性) 成果につながっているか。進捗は予定どおりか。※成果指標に対する評価		B	自主事業鑑賞者数は例年と比較すると、成果指標に掲げる目標に近づきつつある。令和元年度以降は、新型コロナウイルスの影響もあり、伸び悩んでいたが、徐々にコロナ禍が回復するにつれて鑑賞者数の増加が期待できる。	(公平性・受益者負担) 公平性に問題はないか。受益者負担検討の余地はないか。	B	・幅広い年齢層が参画できる事業内容を企画しており、公平性は担保できている。 ・入場料は来場しやすいように、他市と比較し低料金で設定しているが、入場料金の設定について出演者と協議を行い、都度精査する。

総合的な評価と課題（成果の達成状況及び評価結果から明らかになった課題事項など）																														
改革 (ACTION)	<p>【評価】 高校生以下の満足度は目標に達しており、引き続き若い世代が楽しめる催し物を開催する。</p> <p>【課題】 ・ホールへ行ったことのある市民の割合や自主事業鑑賞者数が減少しているため、舞台芸術の鑑賞意欲が高まるような幅広い年代が楽しめる公演内容を企画する。 ・舞台オペレーターの会員充実を図るため、現会員の活躍機会の創出や活動の見える化によるモチベーションの向上と、舞台オペレーターの魅力発信が必要である。</p>																													
	<p>今後の方向性・改善策等</p> <p>・来場者のアンケートを継続して実施し、舞台芸術へのニーズを把握し、観客の増員につながる催し物を開催する。 ・子育て世代や高齢者層のニーズを掘り起こし、年代のニーズに応じた催し物の開催を企画する。 ・舞台オペレーターの魅力を発信するため、中学生からでも気軽に参加できるようなカリキュラムによる体験講座を実施する。 ・引き続き新型コロナウイルス感染防止と「新しい生活様式」に対応するため、オンライン配信環境の活用を進める。</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th rowspan="5">成果の方向性</th> <th colspan="4">成果・コストの方向性</th> </tr> <tr> <th></th> <th>皆減</th> <th>縮小</th> <th>現状維持</th> <th>拡大</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>拡充</td> <td></td> <td></td> <td>✓</td> <td></td> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">コスト投入の方向性</p>	成果の方向性	成果・コストの方向性					皆減	縮小	現状維持	拡大	拡充			✓		現状維持					縮小					休廃止			
成果の方向性	成果・コストの方向性																													
			皆減	縮小	現状維持	拡大																								
	拡充				✓																									
	現状維持																													
	縮小																													
休廃止																														

●構成する予算小事業一覧

(単位：千円)

No.	予算小事業	コスト（評価年度は実績、計画年度は予算）					備考
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
1	ホール運営事業	8,826	15,653	10,455	17,073	17,073	
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
合計		8,826	15,653	10,455	17,073	17,073	

●外部評価 【 】年度実施

指摘事項など	対応状況

丹波市総合計画 令和 4 年度事務事業評価 / 令和 5 年度実施計画

事務事業名	ホール管理事業		
事業担当課	まちづくり部 文化・スポーツ課	事業期間	平成 27 ~ 無期 年度
	所属長 谷水 仁	担当 須原 貞彦	担当

位置づけ	総合計画	まちづくり目標	【5】ふるさとに愛着と誇りをもった人づくりのまち
		施策目標	5【文化芸術】地域の文化芸術を守り、育て、活かそう
	創生総合戦略	基本目標	
		施策	
	まちづくりビジョン	取組項目	
	根拠法令・個別計画等	丹波市立文化ホール条例、丹波市立文化ホール条例施行規則、文化芸術振興基本法、劇場・音楽堂等の活性化に関する法律、丹波市文化芸術推進基本計画	

計画 (PLAN)	対象(誰を、何を)	市内文化ホール(ライブピアいちじま大ホール、春日文化ホール)、ホール利用者		
	目的 ベストな状態 (期待される効果)	本市が直営する市内文化ホールの適正な維持管理		
	概要 (具体的手段・ 全体計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・舞台吊物、照明、音響、空調等設備機器及び防火対象物等の保守点検 ・実施方法:業務委託 ・委託先:各設備取扱業者 ・設備機器の修繕・工事、備品の整備等保全管理 ・ホール利用時の設備機器操作対応 ・文化ホール事業推進会議の開催 		
	令和4年度の 事業概略	ライブピアいちじま大ホール及び春日文化ホールの維持管理	令和5年度の 事業概略	ライブピアいちじま大ホール及び春日文化ホールの維持管理

コスト(単位:千円)		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考			
(評価年度は実績、計画年度は予算)											
歳出	総事業費 A+B	25,244	22,940	25,461	29,215	28,311	28,311				
	直接事業費A	18,408	15,933	21,553	21,566	20,662	20,662				
	総人件費計(E+H) B	6,836	7,007	3,908	7,649	7,649	7,649				
	職員従事者数(人・年) C	0.54	0.49	0.20	0.58	0.58	0.58				
	【平均人件費】D	7,400	7,460	7,620	7,430	7,430	7,430				
	人件費 E=C×D	3,996	3,655	1,524	4,309	4,309	4,309				
	会計年度任用職員従事者数(人・年) F	1.42	1.42	1.01	1.32	1.32	1.32				
	【平均人件費】G	2,000	2,360	2,360	2,530	2,530	2,530				
人件費 H=F×G	2,840	3,351	2,384	3,340	3,340	3,340					
歳入	特定財源	3,192	1,782	4,812	4,669	1,993	1,993				
	国・県支出金	0	390	2,606	921	403	403				
	借入金(地方債)	0	0	0	0	0	0				
	受益者負担金	3,192	1,392	2,206	3,748	1,590	1,590				
	その他特財	0	0	0	0	0	0				
一般財源	22,052	21,158	20,649	24,546	26,318	26,318					
実施 (DO)	指標名	単位	目標 実績	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考	
	活動	設備機器等の修繕件数 (ライブピアいちじま)	回	目標	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	
				実績	5.0	4.0	3.0	4.0			
	活動	設備機器等の修繕件数 (春日文化ホール)	回	目標	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	3.0	
				実績	1.0	4.0	5.0	3.0			
	成果	文化ホールでの事故件数	回	目標	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
				実績	0.0	0.0	0.0	0.0			
	コスト			目標							
				実績							
	コスト			目標							
				実績							
	指標の推移等の背景・分析	ライブピアいちじま大ホールの修繕は、目標値を上回る結果となった。全体で保守点検等による指摘事項の対応修繕が5件、緊急対応が2件となっており、経年による修繕が増加している。									

事務事業名	ホール管理事業			
事業担当課	まちづくり部 文化・スポーツ課	事業期間	平成 27 ~ 無期	年度

事務事業全体の実施 (DO) に対する、事務事業の展開の評価・課題について						
評価 (CHECK)	評価視点	評価	理由・コメント	評価視点	評価	理由・コメント
	(必要性) 市民にとって必要な事業か。		A	劇場、音楽堂等の活性化に関する法律において、地方自治体が芸術文化施策を策定し、劇場音楽堂等を積極的に活用しつつ事業を実施することが定められており、市民の文化芸術意識の向上を図るためホールを活用することが求められている。	(コスト) 改善・改革等により更に低コストで実施できないか。(サービス・成果は維持)	A
(効果性) 成果につながっているか。進捗は予定どおりか。※成果指標に対する評価		B	保守管理を適切に実施することで、突発的な修繕を予防している。	(公平性・受益者負担) 公平性に問題はないか。受益者負担検討の余地はないか。	B	全ての使用者に使用料を徴収しており、受益者負担を適切に求めている。

総合的な評価と課題 (成果の達成状況及び評価結果から明らかになった課題事項など)																																
改革 (ACTION)	【評価】 ・適切な保守管理を行い、適切な予防修繕を実施することで、安全な管理ができています。																															
	【課題】 ・経年に伴い突発的な修繕が増えてくることが懸念される。 ・保守管理や修繕に係るコストが年々増加していくことが懸念される。																															
	今後の方向性・改善策等 ・適切な保守管理に加え、日常点検を実施し、不良個所の早期発見に努める。 ・設備機器の予防修繕及び更新を計画的に実施する。 ・建物の一括管理など、コスト縮減につながる方策を検討する。																															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="4">成果・コストの方向性</th> </tr> <tr> <th>皆減</th> <th>縮小</th> <th>現状維持</th> <th>拡大</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="4">成果の方向性</th> <th>拡充</th> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>現状維持</th> <td></td> <td></td> <td>✓</td> <td></td> </tr> <tr> <th>縮小</th> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>休廃止</th> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">コスト投入の方向性</p>			成果・コストの方向性				皆減	縮小	現状維持	拡大	成果の方向性	拡充					現状維持			✓		縮小					休廃止				
				成果・コストの方向性																												
		皆減	縮小	現状維持	拡大																											
成果の方向性	拡充																															
	現状維持			✓																												
	縮小																															
	休廃止																															

●構成する予算小事業一覧

(単位：千円)

No.	予算小事業	コスト (評価年度は実績、計画年度は予算)					備考
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
1	ホール管理事業	15,933	21,553	21,566	20,662	20,662	
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
合計		15,933	21,553	21,566	20,662	20,662	

●外部評価 【 】年度実施

指摘事項など	対応状況

丹波市総合計画 令和 4 年度事務事業評価 / 令和 5 年度実施計画

事務事業名	芸術文化振興事業		
事業担当課	まちづくり部 文化・スポーツ課	事業期間	平成 27 ~ 無期 年度
	所属長 谷水 仁	担当 須原 貞彦	担当 十倉 磨呂美

位置づけ	総合計画	まちづくり目標	【5】ふるさとに愛着と誇りをもった人づくりのまち
		施策目標	5【文化芸術】地域の文化芸術を守り、育て、活かそう
	創生総合戦略	基本目標	
		施策	
	まちづくりビジョン	取組項目	
	根拠法令・個別計画等	文化芸術振興基本法、丹波市アートコンペティション実行委員会設置要綱、丹波市俳人細見綾子ふるさと文化振興基金条例、丹波市文化芸術推進基本計画	

計画 (PLAN)	対象(誰を、何を)	各文化協会会員・各郷土民謡保存会会員、芸術文化に親しもうとする市民		
	目的 ベストな状態 (期待される効果)	丹波市文化協会、丹波市郷土民謡保存協会をはじめとする文化団体の活動を支援し、文化芸術に関わる活動を強化することで、団体の自立を促進させるとともに、本市の文化芸術活動に関する情報発信を促進する。		
	概要 (具体的手段・全体計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・丹波市文化協会、丹波市郷土民謡保存協会をはじめとする芸術文化団体のへ補助金交付及び活動支援 ・丹波アートコンペティション(丹波市展)の開催により、文化芸術の裾野拡大とモチベーションアップを図る。 ・実施方法：直接実施 ・丹波市俳人細見綾子生家の整備、維持管理及び丹波市俳人細見綾子ふるさと文化振興基金管理 ・丹波市文化芸術推進基本計画の進捗管理 		
	令和4年度の 事業概略	<ul style="list-style-type: none"> ・文化協会、郷土民謡保存協会への運営補助 ・丹波アートコンペティションの開催 ・細見綾子生家維持管理 ・文化芸術サロンの実施(文化芸術推進基本計画に基づく新規事業の展開) ・文化芸術体験講座(はじめの一步講座)の実施 	令和5年度の 事業概略	<ul style="list-style-type: none"> ・文化協会、郷土民謡保存協会への運営補助 ・丹波アートコンペティションの開催 ・細見綾子生家維持管理 ・文化芸術サロンの実施(文化芸術推進基本計画に基づく新規事業の展開) ・文化芸術体験講座(はじめの一步講座)の実施

コスト(単位：千円) (評価年度は実績、計画年度は予算)		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考
歳出	総事業費 A+B	29,153	20,987	19,877	19,357	21,587	21,587	
	直接事業費A	13,265	9,305	8,496	10,406	12,636	12,636	
	総人件費計(E+H)B	15,888	11,682	11,381	8,951	8,951	8,951	
	職員従事者数(人・年)C	2.12	1.49	1.41	1.14	1.14	1.14	
	【平均人件費】D	7,400	7,460	7,620	7,430	7,430	7,430	
	人件費E=C×D	15,688	11,115	10,744	8,470	8,470	8,470	
	会計年度任用職員従事者数(人・年)F	0.10	0.24	0.27	0.19	0.19	0.19	
	【平均人件費】G	2,000	2,360	2,360	2,530	2,530	2,530	
人件費H=F×G	200	566	637	481	481	481		
歳入	特定財源	6,569	1,127	990	1,343	2,276	2,276	
	国・県支出金	0	0	0	404	952	952	
	借入金(地方債)	0	0	0	0	0	0	
	受益者負担金	506	552	503	468	546	546	
	その他特財	6,063	575	487	471	778	778	
一般財源	22,584	19,860	18,887	18,014	19,311	19,311		

実施 (DO)	指標名	単位	目標	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考
			実績							
成果	丹波市文化協会会員数	人	目標	3,500	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	
			実績	2,640	2,533	2,287	2,193			
成果	丹波市郷土民謡保存協会会員数	人	目標	500	400	400	400	400	400	
			実績	369	358	343	251			
成果	丹波アートコンペティション 作品応募数(市民のみ)	点	目標	170	170	170	170	170	170	
			実績	105	94	90	83			
成果	文化芸術サロン参加者数	人	目標	-	100	100	100	100	100	
			実績	-	107	65	109			
コスト			目標							
			実績							

指標の推移等の背景・分析

- ・文化協会、郷土民謡保存協会ともに会員数が減少している。また、会員の高齢化も問題となっている。
- ・丹波アートコンペティションの市民出品数は出品数と比例して減少している。
- ・サロン事業は、令和2年度からアウトリー型で、子育て世代向け芸術鑑賞会を実施しており、令和4年度は、氷上・柏原地域で実施した。

事務事業名	芸術文化振興事業		
事業担当課	まちづくり部 文化・スポーツ課	事業期間	平成 27 ~ 無期 年度

事務事業全体の実施 (DO) に対する、事務事業の展開の評価・課題について						
評価 (CHECK)	評価視点	評価	理由・コメント	評価視点	評価	理由・コメント
		(必要性) 市民にとって必要な事業か。	A	・文化芸術推進基本計画において「文化芸術活動が活発に行える環境整備を行う」ことを目標に掲げており、文化団体の育成や展覧会の開催などを行う必要がある。 ・アートコンペティションやサロンの開催により、市民の文化芸術活動の機会となることから、市が施策として実施すべきである。	(コスト) 改善・改革等により更に低コストで実施できないか。(サービス・成果は維持)	B
(効果性) 成果につながっているか。進捗は予定どおりか。※成果指標に対する評価		B	・文化団体の高齢化や、後継者不足に伴い会員数が減少しているが、持続可能な活動を実施されている。 ・アートコンペティションの出品数は微減であるが、市民の出品割合は横ばいで推移しており、市民の活動発表の機会になっている。	(公平性・受益者負担) 公平性に問題はないか。受益者負担検討の余地はないか。	A	文化団体への活動は市民が誰でも参画でき、地域文化祭の開催など、市民が広く芸術活動に触れる機会を提供できている。

総合的な評価と課題 (成果の達成状況及び評価結果から明らかになった課題事項など)																																								
改革 (ACTION)	<p>・文化団体は、コロナ禍だったが、感染防止対策を行いながら、「総合文化祭」「民謡のつどい」を実施した。また、地域の文化祭の開催、参加、踊りの指導など積極的に活動されている。会員確保のため、活動しやすい環境づくりを構築していくための支援を幹部の方々と検討していく必要がある。</p> <p>・4回目を迎えた丹波アートコンペティションは、前回より出品数が少し減ったが、事業としては定着化してきている。成果指標に掲げている市民参画をどのように増やしていくかが課題である。</p> <p>・文化芸術サロン事業の一つである子育て世代向けサロンとして、子育て学習センターと共催により、令和2年度から実施しており、令和4年度は氷上、柏原地域で実施した。事業参画の増加に向けた取り組みと定着化を図るため、子育てセンター指導員と連携を強化することが必要である。</p> <p>・気軽に市民が文化芸術活動を体験する機会を創出し、アートコンペティションや各文化協会への参画につなげる取り組みが必要である。</p>																																							
	<p>今後の方向性・改善策等</p> <p>・文化団体への補助については、会員数の減少に歯止めをかけ、活動の維持向上を図っていくうえでも、支援を継続していく。</p> <p>・丹波アートコンペティションは、市民の参画を増やす企画を検討・実施する。</p> <p>・子育てアートサロンを継続開催し、会員のニーズを捉え、参加しやすい催し物になるよう、子育て学習センター指導員と事業計画を協働で進めていく。</p> <p>・文化芸術活動に気軽に参加できる機会づくりのため、昨年度に引き続き初心者向け体験講座「はじめの一步」講座を実施する。</p>																																							
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="4">成果・コストの方向性</th> </tr> <tr> <th colspan="2"></th> <th>皆減</th> <th>縮小</th> <th>現状維持</th> <th>拡大</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="4">成果の方向性</th> <th>拡充</th> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>現状維持</th> <td></td> <td></td> <td>✓</td> <td></td> </tr> <tr> <th>縮小</th> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>休廃止</th> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="4">コスト投入の方向性</th> </tr> </tbody> </table>				成果・コストの方向性						皆減	縮小	現状維持	拡大	成果の方向性	拡充					現状維持			✓		縮小					休廃止							コスト投入の方向性			
		成果・コストの方向性																																						
		皆減	縮小	現状維持	拡大																																			
成果の方向性	拡充																																							
	現状維持			✓																																				
	縮小																																							
	休廃止																																							
		コスト投入の方向性																																						

●構成する予算小事業一覧

(単位：千円)

No.	予算小事業	コスト (評価年度は実績、計画年度は予算)					備考
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
1	俳人細見綾子生家管理事業	371	394	403	669	669	
2	芸術文化団体育成事業	5,786	5,293	7,211	7,277	7,277	
3	丹波市俳人細見綾子ふるさと文化振興基金管理事業	204	102	72	109	109	
4	芸術文化振興事業	64	110	404	1,134	1,134	
5	市展開催事業	2,880	2,597	2,316	3,447	3,447	
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
合計		9,305	8,496	10,406	12,636	12,636	

●外部評価 【 】年度実施

指摘事項など	対応状況

丹波市総合計画 令和 4 年度事務事業評価 / 令和 5 年度実施計画

事務事業名	文化財管理・保存事業					
事業担当課	教育部	社会教育・文化財課	事業期間		令和 2 ~ 無期	年度
	所属長	小島 崇史	担当	足立 渡	担当	西岡 真理

位置づけ	総合計画	まちづくり目標	【5】ふるさとに愛着と誇りをもった人づくりのまち
		施策目標	5【文化芸術】地域の文化芸術を守り、育て、活かそう
	創生総合戦略	基本目標	
		施策	
	まちづくりビジョン	取組項目	
	根拠法令・個別計画等	文化財保護法、県文化財保護条例、市文化財保護条例、市指定文化財保存整備等補助交付要綱	

計画 (PLAN)	対象 (誰を、何を)	文化財や地域に残る歴史的文化的遺産の所有者と管理者、及び文化財や歴史に興味や関心を持つ人		
	目的 ベストな状態 (期待される効果)	文化遺産を将来にわたって良好な状態で管理・保存するため、 ・文化遺産がまちづくりにおける歴史的、文化的な核に位置づけられるようにしていく。 ・文化遺産がまちづくりの重要な資源として利活用され、保護・伝承していく意識を高められるようにする。		
	概要 (具体的手段・ 全体計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・市が所有、管理する指定文化財の適正な管理・保存 ・市内の指定文化財所有者・管理者へ保護と管理の指導や保存整備のための補助金を交付 ・文化財保護審議会の開催 ・古文書等歴史文化資料の調査活動の展開 		
	令和4年度の 事業概略	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財の保存修理事業 ・文化財の維持、管理事業 ・歴史講座の開催 	令和5年度の 事業概略	<ul style="list-style-type: none"> ・文化財の保存修理事業 ・文化財の維持、管理事業 ・歴史講座の開催

コスト (単位: 千円)		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考			
(評価年度は実績、計画年度は予算)											
歳出	総事業費 A + B	64,007	54,677	48,446	41,360	47,335	47,335				
	直接事業費 A	50,169	39,757	21,624	21,448	27,423	27,423				
	総人件費計 (E + H) B	13,838	14,920	26,822	19,912	19,912	19,912				
	職員従事者数 (人・年) C	1.87	2.00	3.52	2.68	2.68	2.68				
	【平均人件費】 D	7,400	7,460	7,620	7,430	7,430	7,430				
	人件費 E = C × D	13,838	14,920	26,822	19,912	19,912	19,912				
	会計年度任用職員従事者数 (人・年) F	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00				
	【平均人件費】 G	2,000	2,360	2,360	2,530	2,530	2,530				
人件費 H = F × G	0	0	0	0	0	0					
歳入	特定財源	26,576	17,057	1,004	865	641	1,000				
	国・県支出金	16,876	9,653	1,000	865	641	1,000				
	借入金 (地方債)	0	7,400	0	0	0	0				
	受益者負担金	0	0	0	0	0	0				
	その他特財	9,700	4	4	0	0	0				
一般財源	37,431	37,620	47,442	40,495	46,694	46,335					
実施 (DO)	指標名	単位	目標 実績	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考	
	活動	文化財保存整備補助金 交付件数	件	目標	16	3	3	3	3	3	
				実績	11	3	2	4			
	活動	歴史講座等の実施回数	回	目標	6	6	6	6	6	6	
				実績	8	7	7	7			
				目標							
				実績							
	コスト			目標							
				実績							
	コスト			目標							
				実績							
	指標の推移等の背景・分析		指定文化財保存整備等補助金の活用については、まだ新型コロナウイルス感染症の影響のため、減少したまま横ばい状況である。								

事務事業名	文化財管理・保存事業		
事業担当課	教育部 社会教育・文化財課	事業期間	令和 2 ~ 無期 年度

事務事業全体の実施（DO）に対する、事務事業の展開の評価・課題について						
評価 (CHECK)	評価視点	評価	理由・コメント	評価視点	評価	理由・コメント
	(必要性) 市民にとって必要な事業か。		A	文化財保護法に基づき本市に所在する文化財を保護するとともにその活用を図り、市民の文化的意識の向上を図るためにも、必要な事業である。	(コスト) 改善・改革等により更に低コストで実施できないか。(サービス・成果は維持)	A
(効果性) 成果につながっているか。進捗は予定どおりか。※成果指標に対する評価		B	文化財を維持管理する人が高齢化しており、郷土の文化財に対する若者の意識を高めるためにも、文化財活用を推進する必要がある。これには子どもたちに地域の歴史遺産に関心を持たせるようにするため、地域や学校と連携を図る必要がある。	(公平性・受益者負担) 公平性に問題はないか。受益者負担検討の余地はないか。	A	指定文化財の保存等に係る補助事業の実施については、所有者からの要望書の内容や緊急性を確認し、優先順位を決定している。

総合的な評価と課題（成果の達成状況及び評価結果から明らかになった課題事項など）																															
改革 (ACTION)	<p>【評価】</p> <p>市民に補助金の活用や歴史講座等によって文化財や歴史遺産に関心を持ってもらい、文化財を利活用した取組を推進し、後世に歴史遺産を残していく仕組づくりを前進させることができた。</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 指定文化財の保護、維持管理の支援に留まることなく、未指定文化財の調査等を推進し、市内全体の文化財の保護・活用を推進する必要がある。 個々の文化財を「点」として保存することから地域の文化財を「面」として一体的に整備し、保存活用する発想の転換が求められている。 																														
	<p>今後の方向性・改善策等</p> <ul style="list-style-type: none"> 文化財の指定・未指定を問わず、その周辺環境も含めた保存・活用を図るため、今後において基本的な指針を整理するために必要な事業を進めていく。 積極的な活用（会議・イベント等）に適した文化財をリストアップし、地元自治会や観光部署、関係社会教育施設と連携してその活用を推進する。 																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="4">成果・コストの方向性</th> </tr> <tr> <th>皆減</th> <th>縮小</th> <th>現状維持</th> <th>拡大</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="4">成果の方向性</th> <th>拡充</th> <td></td> <td></td> <td>✓</td> <td></td> </tr> <tr> <th>現状維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>縮小</th> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>休廃止</th> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">コスト投入の方向性</p>			成果・コストの方向性				皆減	縮小	現状維持	拡大	成果の方向性	拡充			✓		現状維持					縮小					休廃止			
				成果・コストの方向性																											
		皆減	縮小	現状維持	拡大																										
成果の方向性	拡充			✓																											
	現状維持																														
	縮小																														
	休廃止																														

●構成する予算小事業一覧

(単位：千円)

No.	予算小事業	コスト（評価年度は実績、計画年度は予算）					備考
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
1	文化財管理・保存事業	19,698	21,624	21,448	27,423	27,423	
2	文化財整備事業	20,059					
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
合計		39,757	21,624	21,448	27,423	27,423	

●外部評価 【 】年度実施

指摘事項など	対応状況

丹波市総合計画 令和 4 年度事務事業評価 / 令和 5 年度実施計画

事務事業名	埋蔵文化財調査事業					
事業担当課	教育部	社会教育・文化財課	事業期間		令和 3 ~ 無期	年度
	所属長	小島 崇史	担当	足立 渡	担当	西岡 真理

位置づけ	総合計画	まちづくり目標	【5】ふるさとに愛着と誇りをもった人づくりのまち
		施策目標	5【文化芸術】地域の文化芸術を守り、育て、活かそう
	創生総合戦略	基本目標	
		施策	
	まちづくりビジョン	取組項目	
	根拠法令・個別計画等	文化財保護法、県文化財保護条例、市文化財保護条例、市指定文化財保存整備等補助交付要綱	

計画 (PLAN)	対象(誰を、何を)	埋蔵文化財試掘・発掘調査出土遺物		
	目的 ベストな状態 (期待される効果)	これまでに試掘、発掘調査で出土した膨大な遺物を整理し、報告書刊行のための基礎資料にするとともに、これらを展示・公開することで保存活用を図る。		
	概要 (具体的手段・全体計画)	開発等に伴い必要となる埋蔵文化財の試掘・発掘調査及びこれまでの試掘・発掘調査で出土した遺物の洗浄、注記、復元、実測、図面トレース、写真撮影等の整理作業を行う。		
	令和4年度の 事業概略	試掘・分布調査、報告書の作成・準備	令和5年度の 事業概略	試掘・分布調査、報告書の作成・準備

コスト(単位:千円)		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考			
(評価年度は実績、計画年度は予算)											
歳出	総事業費 A+B	5,867	6,777	5,958	5,378	5,870	5,870				
	直接事業費A	3,869	3,718	2,072	2,183	2,675	2,675				
	総人件費計(E+H) B	1,998	3,059	3,886	3,195	3,195	3,195				
	職員従事者数(人・年) C	0.27	0.41	0.51	0.43	0.43	0.43				
	【平均人件費】D	7,400	7,460	7,620	7,430	7,430	7,430				
	人件費 E=C×D	1,998	3,059	3,886	3,195	3,195	3,195				
	会計年度任用職員従事者数(人・年) F	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00				
	【平均人件費】G	2,000	2,360	2,360	2,530	2,530	2,530				
人件費 H=F×G	0	0	0	0	0	0					
歳入	特定財源	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500				
	国・県支出金	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500				
	借入金(地方債)	0	0	0	0	0	0				
	受益者負担金	0	0	0	0	0	0				
	その他特財	0	0	0	0	0	0				
一般財源	4,367	5,277	4,458	3,878	4,370	4,370					
実施 (DO)	指標名	単位	目標 実績	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考	
	活動	試掘・確認調査件数	件	目標	11	13	13	10	7	7	
				実績	9	6	6	4			
	成果	報告書の作成	冊	目標	1	1	1	1	1	1	
				実績	1	1	1	1			
				目標							
				実績							
	コスト			目標							
				実績							
	コスト			目標							
				実績							
	指標の推移等の背景・分析			<ul style="list-style-type: none"> ・試掘・確認調査は、開発場所や対象の内容により、実施の有無を決定するため、目標値(見込)と実績値に大幅な乖離がみられる年度がある。 ・近年は、試掘・確認調査を要する開発が減少したため件数が減少した。 							

事務事業名	埋蔵文化財調査事業			
事業担当課	教育部 社会教育・文化財課	事業期間	令和 3 ~ 無期	年度

事務事業全体の実施（DO）に対する、事務事業の展開の評価・課題について						
評価 (CHECK)	評価視点	評価	理由・コメント	評価視点	評価	理由・コメント
		(必要性) 市民にとって必要な事業か。	A	文化財保護法に基づく埋蔵文化財の調査は、該当しない市民には直接影響しない事業であるが、国や本市の歴史と文化の成り立ちを理解するうえで欠くことのできないものであり、市内の地下遺構である文化財を保護する点においては、重要な事業である。	(コスト) 改善・改革等により更に低コストで実施できないか。(サービス・成果は維持)	B
(効果性) 成果につながっているか。進捗は予定どおりか。※成果指標に対する評価		B	発掘調査報告書の刊行に向けて、出土遺物の整理を進めているが、その量が膨大であり、且つ人員不足による理由から、報告書の刊行に遅れが生じている。	(公平性・受益者負担) 公平性に問題はないか。受益者負担検討の余地はないか。	A	開発等に伴い発生する埋蔵文化財の試掘・確認調査の費用は、文化財保護法の規定により各市町村が行うとされ、試掘・確認調査の結果、本発掘調査が必要とされた場合の費用負担は原則として開発者等による原因者負担としている。

総合的な評価と課題（成果の達成状況及び評価結果から明らかになった課題事項など）																														
改革 (ACTION)	<p>【評価】 文化財の歴史的価値を損なわないよう開発行為に伴う埋蔵文化財試掘調査を実施した。更に広範囲にわたって文化財の調査する分布調査も実施した。</p> <p>【課題】 ・過去の発掘調査で出土した遺物の記録図面の作成や報告書刊行、資料館等での公開・展示に向けた整理が必要となっている。 ・埋蔵文化財の調査から出土した遺物の目録作成等までを一貫して行う効率的な管理運用体制の構築が求められ、出土遺物をいつでも公開・展示できるようにしておくためのデータベース化が求められる。</p>																													
	<p>今後の方向性・改善策等</p> <p>市民が埋蔵文化財を通して地域の歴史を知る機会を提供するため、埋蔵文化財の調査で発掘した遺物のデータベース化や調査報告書の作成等、学芸員の調査研究に関する時間を確保することで、過去に調査した埋蔵文化財の調査報告書の刊行を計画的に進めていく。</p>																													
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="5">成果の方向性</th> <th colspan="4">成果・コストの方向性</th> </tr> <tr> <th></th> <th>皆減</th> <th>縮小</th> <th>現状維持</th> <th>拡大</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th>拡充</th> <td></td> <td></td> <td>✓</td> <td></td> </tr> <tr> <th>現状維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>縮小</th> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>休廃止</th> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>コスト投入の方向性</p>	成果の方向性	成果・コストの方向性					皆減	縮小	現状維持	拡大	拡充			✓		現状維持					縮小					休廃止			
成果の方向性	成果・コストの方向性																													
			皆減	縮小	現状維持	拡大																								
	拡充				✓																									
	現状維持																													
	縮小																													
休廃止																														

●構成する予算小事業一覧

(単位：千円)

No.	予算小事業	コスト（評価年度は実績、計画年度は予算）					備考
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
1	埋蔵文化財調査事業	3,718	2,072	2,183	2,675	2,675	
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
合計		3,718	2,072	2,183	2,675	2,675	

●外部評価 【 】年度実施

指摘事項など	対応状況
--------	------

丹波市総合計画 令和 4 年度事務事業評価 / 令和 5 年度実施計画

事務事業名	歴史民俗資料館管理・運営事業		
事業担当課	教育部 社会教育・文化財課	事業期間	令和 2 ~ 無期 年度
	所属長 小島 崇史	担当 徳原 由紀子	担当 足立 恵一

位置づけ	総合計画	まちづくり目標	【5】ふるさとに愛着と誇りをもった人づくりのまち
		施策目標	5【文化芸術】地域の文化芸術を守り、育て、活かそう
	創生総合戦略	基本目標	【3】地域の魅力や人のつながりを活かして移住・定住につなげる
		施策	【3-2】 地域資源の魅力を活かす
	まちづくりビジョン	取組項目	
	根拠法令・個別計画等	丹波市立歴史民俗資料館条例、丹波市立歴史民俗資料館条例施行規則、丹波市立氷上回廊水分けフィールドミュージアム条例、丹波市立氷上回廊水分けフィールドミュージアム条例施行規則	

計画 (PLAN)	対象(誰を、何を)	丹波市の歴史を知りたい市内外の人々、指定文化財及び未指定の地域に残る文化遺産		
	目的 ベストな状態 (期待される効果)	市民に対し、市の地域資源(歴史・文化、氷上回廊を取り巻く環境等)に触れる機会を設けることにより、 ・市民が本市の歴史・文化遺産・ゆかりの人物について理解が深められるようにする。 ・市民に地域に対する誇りや愛着の心(ふるさと意識)を醸成する。		
	概要 (具体的手段・ 全体計画)	<ul style="list-style-type: none"> 各資料館の管理運営、企画展の開催 氷上回廊水分けフィールドミュージアムの管理運営、企画展及び各種イベントの開催 社会教育施設と教室を繋ぐ博学連携事業の実施 		
	令和4年度の 事業概略	<ul style="list-style-type: none"> 企画展・講座・各種イベントの開催 社会教育施設と教室を繋ぐ博学連携事業の推進 	令和5年度の 事業概略	<ul style="list-style-type: none"> 企画展・講座・各種イベントの開催 社会教育施設と教室を繋ぐ博学連携事業の推進

コスト(単位:千円)		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考			
(評価年度は実績、計画年度は予算)											
歳出	総事業費 A+B	53,873	307,060	58,312	52,135	65,889	60,869				
	直接事業費A	28,933	277,112	29,822	23,311	34,813	29,793				
	総人件費計(E+H) B	24,940	29,948	28,490	28,824	31,076	31,076				
	職員従事者数(人・年) C	3.10	3.54	2.50	2.64	2.48	2.48				
	【平均人件費】D	7,400	7,460	7,620	7,430	7,430	7,430				
	人件費 E=C×D	22,940	26,408	19,050	19,615	18,426	18,426				
	会計年度任用職員従事者数(人・年) F	1.00	1.50	4.00	3.64	5.00	5.00				
	【平均人件費】G	2,000	2,360	2,360	2,530	2,530	2,530				
人件費 H=F×G	2,000	3,540	9,440	9,209	12,650	12,650					
歳入	特定財源	19,136	181,960	5,575	3,448	7,098	1,651				
	国・県支出金	6,600	51,275	3,336	1,671	4,933	0				
	借入金(地方債)	11,200	126,500	0	0	0	0				
	受益者負担金	1,336	1,006	1,599	1,777	1,665	1,651				
	その他特財	0	3,179	640	0	500	0				
一般財源	34,737	125,100	52,737	48,687	58,791	59,218					
実施 (DO)	指標名		単位	目標 実績	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考
	成果	氷上回廊水分けフィールドミュージアム年間入館者数	人	目標	-	-	30,000	30,000	30,000	30,000	
				実績	-	3,913	33,025	35,157			
	成果	歴史民俗資料館入館者数	人	目標	7,000	7,000	6,000	6,500	6,500	7,000	
				実績	8,596	3,385	5,569	5,611			
				目標							
				実績							
				目標							
				実績							
	コスト	入館者1人あたりの資料館運営コスト	円	目標	22,105.6	39,380.8	1,918.1	1,629.8	1,657.3	1,634.9	事業費 入館者数
コスト			実績	6,267.2	41,749.8	1,510.9	1,277.5				
			目標								
			実績								
指標の推移等の背景・分析		<ul style="list-style-type: none"> 氷上回廊水分けフィールドミュージアムはコロナ禍であっても目標入館者数30,000人を達成することができた。 資料館の入館者数は依然として新型コロナウイルスの影響から横ばい状態である。 									

事務事業名	歴史民俗資料館管理・運営事業		
事業担当課	教育部 社会教育・文化財課	事業期間	令和 2 ~ 無期 年度

事務事業全体の実施（DO）に対する、事務事業の展開の評価・課題について						
評価 (CHECK)	評価視点	評価	理由・コメント	評価視点	評価	理由・コメント
		(必要性) 市民にとって必要な事業か。	A	文化財や氷上回廊を貴重な地域資源に位置づけ、その魅力を発信し続けることで、市民や子どもたちへのふるさと意識の醸成を図るため、必要な事業である。	(コスト) 改善・改革等により更に低コストで実施できないか。(サービス・成果は維持)	B
(効果性) 成果につながっているか。進捗は予定どおりか。※成果指標に対する評価		B	・市民参画による資料館の開館を行い、市民と行政が一体となった運営ができています。 ・市内歴史民俗資料館には学芸員の常駐がなく、積極的な活用が難しいことから、施設の整理統合により効率的な運営が求められる。	(公平性・受益者負担) 公平性に問題はないか。受益者負担検討の余地はないか。	B	・各種イベントには参加料を徴収することで公平性を確保している。 ・館蔵資料の商業利用について、使用料を求めることも今後検討する必要がある。

総合的な評価と課題（成果の達成状況及び評価結果から明らかになった課題事項など）															
改革 (ACTION)	<p>【評価】</p> <p>資料館運営では、郷土史研究会と連携した企画展示や植野記念美術館との合同展、ボランティアによる市島民俗資料館の開館など、コストを意識した歴史資料の活用が図れている。</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各資料館では、市民の来館が少ない傾向にある。 ・各資料館や市内フィールドには、貴重な歴史資料や自然地形など他にはない唯一無二のものが存在するが、このことが多くの市民に知られていない状況にある。 														
	<p>今後の方向性・改善策等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内資料館及び氷上回廊水分けフィールドミュージアムにおいて、市が所有する貴重な歴史資料等をまずは「市民が知る」ための館蔵資料での企画展などを検討する。 ・電子黒板やタブレットなどのICT機器を活用し、水分けをはじめとする地域資源と教室をつなぐ遠隔授業を積極的に推進することで、子どもたちのふるさと意識の醸成を図る。 ・郷土史研究会等との連携・協力を深め、資料館の資料や施設が有効活用される企画を行う。 ・氷上回廊水分けフィールドミュージアム・青垣いきものふれあいの里・植野記念美術館・丹波亀化石工房と連携し、学びを提供することで相乗効果を図る。 														
	<p>成果・コストの方向性</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>皆減</th> <th>縮小</th> <th>現状維持</th> <th>拡大</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>成果の方向性</td> <td></td> <td></td> <td>✓</td> <td></td> </tr> <tr> <td>コスト投入の方向性</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		皆減	縮小	現状維持	拡大	成果の方向性			✓		コスト投入の方向性			
	皆減	縮小	現状維持	拡大											
成果の方向性			✓												
コスト投入の方向性															

●構成する予算小事業一覧

(単位：千円)

No.	予算小事業	コスト（評価年度は実績、計画年度は予算）					備考
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
1	歴史民俗資料館等管理事業	6,824	10,960	7,949	9,589	10,000	
2	氷上回廊水分けフィールドミュージアム拠点整備事業	262,141					
3	氷上回廊水分けフィールドミュージアム管理運営事業	6,224	17,667	15,362	25,224	19,793	
4	歴史民俗資料館等管理事業（繰越分）	1,923					
5	氷上回廊水分けフィールドミュージアム管理運営事業（繰越分）		1,195				
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
合計		277,112	29,822	23,311	34,813	29,793	

●外部評価 【 】年度実施

指摘事項など	対応状況

丹波市総合計画 令和 4 年度事務事業評価 / 令和 5 年度実施計画

事務事業名	美術館管理運営事業		
事業担当課	教育部 社会教育・文化財課	事業期間	平成 16 ~ 無期 年度
	所属長 小島 崇史	担当 青木 浩文	担当 永山 宗史

位置づけ	総合計画	まちづくり目標	【5】ふるさとに愛着と誇りをもった人づくりのまち
		施策目標	5【文化芸術】地域の文化芸術を守り、育て、活かそう
	創生総合戦略	基本目標	【3】地域の魅力や人のつながりを活かして移住・定住につなげる
		施策	【3-2】 地域資源の魅力を活かす
	まちづくりビジョン	取組項目	
根拠法令・個別計画等 教育基本法、社会教育法、博物館法、文化財保護法、文化芸術振興基本法、著作権法、丹波市文化芸術推進基本計画 他			

計画 (PLAN)	対象(誰を、何を)	入館者、未入館者		
	目的 ベストな状態 (期待される効果)	<ul style="list-style-type: none"> 市民がこころ豊かでいきいきとした生活を送れるようになる。 豊かな人間性と芸術に親しむ青少年を育成する。 		
	概要 (具体的手段・全体計画)	<ul style="list-style-type: none"> 市民のニーズに応え、大衆性、芸術性のバランスを考えた質の高い展覧会の開催 地元ゆかりの作家展、美術館の特色を活かした展覧会の開催 ワークショップ、ミュージアムコンサート、講演会など感性を育む関連事業の実施 市内の保育施設、認定こども園、小学校、中学校を対象に鑑賞教室の実施 施設の維持管理及び改修方針の検討 市民への発信の注力 		
	令和4年度の 事業概略	<ul style="list-style-type: none"> 優れた芸術を紹介する特別展の開催 館蔵作品展の開催 地域の芸術を紹介する企画展の開催 講演会等関連事業の実施 鑑賞教室の開催 美術館友の会等生涯学習活動の支援 	令和5年度の 事業概略	<ul style="list-style-type: none"> 老朽化に伴う美術館改修工事 優れた芸術を紹介する特別展の開催 館蔵作品展の開催 地域の芸術を紹介する企画展の開催 講演会等関連事業の実施 鑑賞教室の開催・美術館友の会等生涯学習活動の支援

コスト(単位:千円) (評価年度は実績、計画年度は予算)		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	備考
歳出	総事業費 A+B	62,946	73,666	69,810	74,751	156,709	87,434	
	直接事業費 A	32,746	34,386	36,649	34,911	116,869	47,594	
	総人件費計 (E+H) B	30,200	39,280	33,161	39,840	39,840	39,840	
	職員従事者数(人・年) C	3.00	4.00	3.11	4.00	4.00	4.00	
	【平均人件費】D	7,400	7,460	7,620	7,430	7,430	7,430	
	人件費 E=C×D	22,200	29,840	23,721	29,720	29,720	29,720	
	会計年度任用職員従事者数(人・年) F	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	4.00	
	【平均人件費】G	2,000	2,360	2,360	2,530	2,530	2,530	
人件費 H=F×G	8,000	9,440	9,440	10,120	10,120	10,120		
歳入	特定財源	16,231	9,532	7,319	14,661	82,078	7,369	
	国・県支出金	0	0	509	0	0	0	
	借入金(地方債)	0	0	0	3,000	79,600	0	
	受益者負担金	4,920	8,425	5,728	4,762	2,111	6,149	
	その他特財	11,311	1,107	1,082	6,899	367	1,220	
一般財源	46,715	64,134	62,491	60,090	74,631	80,065		

実施 (DO)	指標名	単位	目標		実績		備考	
			令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度
成果	植野記念美術館年間入館者数	人	目標 30,000	30,000	20,000	18,000	18,000	24,000
			実績 16,185	17,874	16,470	15,879		
成果	展覧会に対する満足度	%	目標 100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
			実績 100.0	98.0	98.0	98.5		
成果	ワークショップ等イベントの参加率(充足率)	%	目標 100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
			実績 85.0	61.9	69.0	67.0		
成果	美術館友の会年間会員数	人	目標 400	400	400	400	400	400
			実績 333	227	208	191		
コスト			目標					
			実績					
コスト			目標					
			実績					
指標の推移等の背景・分析			<ul style="list-style-type: none"> 来館者数は、「きかんしゃトーマス展」では幅広い年代に訴求できたため目標数を上回った。ほかにも絵本原画展、美人画展等、多様な内容の展覧会を企画したが、全体では目標に届かなかった。 展覧会に対する満足度はほぼ目標値に近い結果となっているが、ワークショップ等イベントの参加率(充足率)は、約7割となっており広報の手法に工夫が必要である。 美術館友の会年間会員数は、コロナ禍により活動の幅が制限された事等に起因し、目標の半数まで会員数が減少している。 					

事務事業名	美術館管理運営事業			
事業担当課	教育部 社会教育・文化財課	事業期間	平成 16 ~ 無期	年度

事務事業全体の実施（DO）に対する、事務事業の展開の評価・課題について						
評価視点	評価	理由・コメント	評価視点	評価	理由・コメント	
評価 (CHECK)	(必要性) 市民にとって必要な事業か。	A	・学校教育において、大きな教材となっている。 ・市民の芸術活動発表の場となっている。 ・丹波市ゆかりの優れた芸術家の作品や、創作者の植野藤次郎が蒐集した中国、バブア・ニューギニア、現代美術作品等の保存・収蔵施設として機能している。 ・都市部に向くことなく、市内で優れた芸術作品を鑑賞することができる。	(コスト) 改善・改革等により更に低コストで実施できないか。(サービス・成果は維持)	B	・企画会社による展覧会を減らし、地域性や館蔵品を活かした自主企画による展覧会を増やすことでコスト軽減を図っている。 ・施設改修（LED改修、空調設備改修）を行ったことにより、電気料金等の低廉化につなげることができている。
	(効果性) 成果につながっているか。進捗は予定どおりか。※成果指標に対する評価	B	・展覧会は単なるイベント事業ではなく啓蒙的な意味合いを持つ事業であるため、丹波市ゆかりの芸術家の作品や館蔵品を紹介する展覧会は目標入館者数に届かないが、館の根幹を成す作品を紹介する機会として重要である。 ・周辺市町にも新聞折込や有料広告等の手法で広報を行っており、市外からの来館者が着実に増え、丹波市観光のきっかけの一つになっている。	(公平性・受益者負担) 公平性に問題はないか。受益者負担検討の余地はないか。	A	観覧料および使用料について、条例に基づき公平に受益者負担を求めている。

総合的な評価と課題（成果の達成状況及び評価結果から明らかになった課題事項など）																															
改革 (ACTION)	<p>【評価】</p> <p>成果指標「展覧会に対する満足度」においては、高い評価を得ており、展覧会に来館して鑑賞していただく満足してもらえる結果となっている。今後も多様な年齢層に訴求する内容の企画をするとともに、来館したことのない方に来館のきっかけとなるような関連イベント等の企画を充実させる。</p> <p>【課題】</p> <p>成果指標「植野記念美術館年間入館者数」・「ワークショップ等イベントの参加率（充足率）」・「美術館友の会年間会員数」が目標に届いていない。</p>																														
	<p>今後の方向性・改善策等</p> <p>・成果指標「植野記念美術館年間入館者数」は、企画内容の多様化、他施設との連携により展覧会事業の充実を図る。</p> <p>・成果指標「ワークショップ等イベントの参加率（充足率）」は目標に届いていないが、参加者の満足度は高いので、広報手法の工夫を図る。</p> <p>・成果指標「美術館友の会年間会員数」は目標の約半数となっているが、コロナ禍による活動制限が要因の一つとみられるので、今後活動が再開された場合には、美術館めぐり等の魅力的な活動を通じ、新規会員の増加を図る。</p>																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="4">成果・コストの方向性</th> </tr> <tr> <th rowspan="5">成果の方向性</th> <th>皆減</th> <th>縮小</th> <th>現状維持</th> <th>拡大</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>拡充</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>✓</td> </tr> <tr> <td>現状維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">コスト投入の方向性</p>			成果・コストの方向性				成果の方向性	皆減	縮小	現状維持	拡大	拡充				✓	現状維持					縮小					休廃止			
		成果・コストの方向性																													
成果の方向性	皆減	縮小	現状維持	拡大																											
	拡充				✓																										
	現状維持																														
	縮小																														
	休廃止																														

●構成する予算小事業一覧

(単位：千円)

No.	予算小事業	コスト（評価年度は実績、計画年度は予算）					備考
		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	
1	美術館管理運営事業	34,386	36,649	34,911	116,869	47,594	
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
合計		34,386	36,649	34,911	116,869	47,594	

●外部評価 【 】年度実施

指摘事項など	対応状況